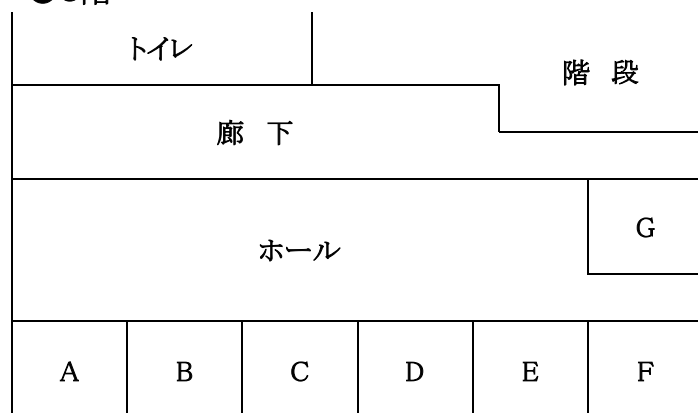


## 10 通級指導教室平面図

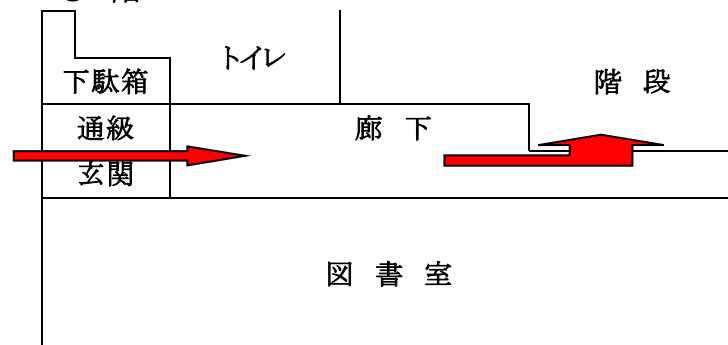
### ●3階



### ●2階



### ●1階



## ▼学校案内図▼



## ▼交通機関▼

1. 京浜急行線“南太田駅”下車  
→徒歩10分
2. 横浜市営地下鉄“吉野町駅”下車  
→3番出口より→徒歩7分

共進中学校 HP の通級のページにも学校までのアクセスを載せてあります。(表紙参照)

### 横浜市特別支援教育総合センター

横浜市保土ヶ谷区仏向町 845-2  
TEL 045-336-6020

## 通級指導教室のしおり

平成8年4月 開設



## 横浜市立共進中学校

### 通級指導教室

〒232-0045 横浜市南区東蒔田町 1-5  
TEL & FAX 045-711-0823 (直通)  
045-711-5091 (代表)

共進中学校 HP

(<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kyoshin/>)



## 1 中学校通級指導教室とは

発達に関するさまざまな特性を持つ生徒が、普段は自分の在籍校で学校生活を送りながら、週1回～月1回程度、自分にあった学び方やコミュニケーションの方法を個々の状態に応じて特別に指導を受ける場です。

## 2 本校の教室編成

きこえ・ことば・まなびの各支援を必要とする生徒を対象にし、それぞれの生徒の課題や状態に応じた通級による指導を次のそれぞれの通級指導教室で行います。

- ・ きこえの教室
- ・ ことばの教室
- ・ まなびの支援教室

## 3 教室目標

- (1) 自ら学び、自ら考え、行動できる人になろう。
- (2) 自分の発達に関する特性や状態、長所を理解し、自分らしさを発揮できる人になろう。
- (3) 自分の生き方を切り拓いていける人になろう。
- (4) 周囲と協力して楽しい生活を送れる人になろう。

## 4 通級の指導方針

きこえ・ことば・まなびの各支援を必要とする生徒が、本来の力が発揮できるようにするために通級による指導を行います。それぞれの課題や状態に応じて生徒自身が社会及び環境に主体的に参加し、自立していくための支援を行います。

## 5 各教室の指導内容

### 【きこえの教室】

- ・生徒の実態と特性を、会話や行動観察、検査などからの確に把握し、個に応じた適切な指導や支援を行います。

- ・コミュニケーションの意欲や能力を育成し、人との関わりの中で個性や持っている力を発揮できるようにします。
- ・主体的に聴覚を活用する態度や能力を育てると共に表現能力を育て、人とのやり取りの中から言語情報を獲得したり、自分の意思を正確に伝達したりする態度と能力を育てます。
- ・学習や生活上の問題について保護者や在籍校担任と連携し、協力して指導や支援を行います。

### 【ことばの教室】

- ・行動観察や検査の結果に基づき、生徒の実態と特性を的確に把握し、個に応じた適切な指導や支援を行います。
- ・個々の強み等を認識し、生活・学習に主体的に取り組み、自主的に問題を解決しようとする態度の育成を図ります。
- ・生徒の心理面を考慮しながら、言語の受容及び表出技能の改善を図ります。
- ・コミュニケーションの意欲と能力を高め、より望ましい人間関係の育成に努めます。
- ・学習や生活上の問題について保護者や在籍校担任と連携し、協力して指導や支援を行います。

### 【まなびの支援教室】

- ・状況や場に応じたセルフコントロールの仕方、コミュニケーションスキルや自己決定の能力の習得を図ります。
- ・多様な活動の方法を学習することにより、集団活動へのスムーズな参加を図ります。
- ・板書が写せない、提出物が出せない、テスト勉強の仕方がわからないなど、学習面での悩みに具体的なアドバイスをします。
- ・生徒の思春期のさまざまな問題や進路などについて、在籍校担任と連携を図りながら、保護者と相談をしていきます。

## 6 保護者との連携

通級では、保護者への支援も行います。保護者への支援や助言を通じて、生徒の発達や特性に関する理解を深めます。また、思春期の子どもとの家庭内での接し方や、今後の進路についての相談も行います。

## 7 在籍校との連携

通級による指導は、在籍校と連携・協力して行います。在籍学級での学習・集団参加の様子や、生徒同士の関わりがどのように行われているか、担任から情報を得ています。また、在籍校教員理解研修や在籍校訪問、日常的な連絡等により在籍校との連携を密にしています。

## 8 関係機関との連携

通級する生徒一人ひとりの特性の状態をよりの確にとらえ、改善していくためには、多角的な視点でとらえることが必要です。そのため、医療機関や研究・教育機関などとも連携し、生徒への支援を行います。

## 9 主な年間予定

- ・保護者会
- ・理解研修(在籍校教員対象、共進中1年生対象)
- ・在籍校訪問

(令和3年 改訂)